

- 問1 日本の諸地域の気候を分析した資料において、ある都市は、夏から秋にかけて降水量のピークが見られる一方で、冬の降水量は非常に少ないという、太平洋側の気候に近い特徴を示しています。瀬戸内海沿岸に位置しながらこのような降水パターンの特徴を持つ都市として、最も適切なものを答えなさい。（2020年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 大阪市

2. 新潟市

3. 福岡市

4. さいたま市
- 問2 近畿地方のある県について述べた次の文のうち、統計的な特色と一致する県名はどれですか。「古都としての歴史的背景から重要文化財件数が1,300件を超えて非常に多く、また、大阪などの大都市へ通勤する人々が住む郊外の住宅地が広がっているため、100世帯あたりの乗用車保有台数が111台を超えている。」（2018年 徳島県公立入試 類似）

1. 滋賀県

2. 和歌山県

3. 奈良県

4. 京都府
- 問3 中京工業地帯に属する三重県の産業構造について、隣接する愛知県と比較した際の説明として最も適切なものはどれですか。なお、愛知県は製造品出荷額等の半分以上を輸送用機械が占めているものとします。（2024年 鳥取県公立入試 類似）

1. 輸送用機械が最大のシェアを占める点は共通しているが、三重県の方が食品や鉄鋼など幅広い部門が上位に含まれる。

2. 愛知県は内陸部での電子部品製造が中心であるが、三重県は沿岸部での造船業に特化した構造となっている。

3. 三重県は輸送用機械の割合が愛知県よりも高く、県内のほぼすべての製造品出荷額を自動車産業が占めている。

4. 愛知県は軽工業の割合が高いのに対し、三重県は伝統工芸品を主軸とした地場産業が製造品出荷額の過半数を占める。
- 問4 近畿地方のある県に関する統計において、人口密度が369.6人、昼夜間人口比率が90.0、人口増減率がマイナス0.53%という数値が示されています。これらの特徴に合致する県名として正しいものを次のうちから選んでください。（2021年 秋田県公立入試 類似）

1. 秋田県

2. 奈良県

3. 鳥取県

4. 北海道
- 問5 2018年の統計において、野菜の産出額が約150億円に達し、米の約73億円や果実の約67億円を大きく上回っている都道府県があります。このように、大消費地である都市の周辺で、鮮度が重要視される野菜などを中心に生産する農業の形態を何と呼びますか。（2022年 大阪府公立入試 類似）

1. 都市近郊農業

2. 抑制栽培

3. 施設園芸農業

4. 促成栽培
- 問6 近畿地方を日本海側から太平洋側へ横切るように切断した際の標高の変化を説明した記述として、地形の成り立ちや特徴を踏まえた表現として最もふさわしいものを選んでください。（2026年 山口県公立入試 類似）

1. 北端から南端まで標高100メートル以下の平坦な平野が続いており、全域で稲作を中心とした大規模な農業が行われている。

2. 北端の日本海側には若狭湾などの沿岸低地が見られ、中央部には標高の高い山地が険しくそびえ、南端の太平洋側にはリアス海岸や沿岸低地が分布する。

3. 日本海側には標高3,000メートルを超える火山が連なり、中央部の広大な盆地を経て、太平洋側にはなだらかな台地が広がっている。

4. 中央部に広大な高原地帯があるため、日本海側と太平洋側のどちらから向かって、標高が一定の高さで維持される平坦な断面図となる。
- 問7 江戸時代の大坂が「天下の台所」と呼ばれるほどの商業・物流の中心地となった理由として、当時の社会の仕組みを正しく説明しているものを選びなさい。（2020年 佐賀県公立入試 類似）

1. 幕府が大坂を政治の拠点と定め、全国の商人に大坂への移住と独占的な商売を強制したから

2. 大坂周辺で大規模な新田開発が行われ、日本で生産される米の半分以上が大坂産となったから

3. 鎖国体制下において、大坂が唯一の外国貿易港として認められ、海外の珍しい品物が大量に流入したから

4. 諸藩が領内の年貢米や特産物を売却して貨幣を得るために、大坂に蔵屋敷を設置して物資を集めたから
- 問8 大阪市で見られる「瀬戸内式の気候」において、年間を通じて降水量が比較的少なくなる理由を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 栃木県公立入試 類似）

1. 夏と冬の季節風が、それぞれ四国山地と中国山地に遮られるため。

2. シベリア高気圧の影響を一年中強く受け、乾燥した空気が滞留するため。

3. 標高の高い地域に位置しており、湿った空気が到達する前に雨を降らせるため。

4. 寒流である親潮の影響により、上昇気流が発生しにくいから。
- 問9 三重県の志摩半島周辺では、真珠の養殖が非常に盛んです。このような水産業が発展した背景にある、この地域の地形的特徴と、それが養殖に適している理由の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。（2016年 佐賀県公立入試 類似）

1. 遠浅の大陸棚が広がっており、太陽光が海底まで届きやすく真珠貝の成長が早いから。

2. 寒流と暖流がぶつかる潮目にあたるため、プランクトンが豊富で真珠貝の餌が多いから。

3. 大規模な干拓地が形成されており、真珠を加工するための工場を沿岸部に建設しやすいから。

4. リアス海岸に見られる波の穏やかな入り江が、繊細な真珠貝の管理に適しているから。
- 問10 滋賀県に位置する日本最大の湖である琵琶湖と、その周辺地域との関わりについて述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2021年 山口県公立入試 類似）

1. 日本海側に面した大規模な潟湖であり、古くから東北地方との交易の中継地点として発展してきた。

2. 静岡県に位置する汽水湖であり、周辺ではうなぎの養殖や楽器の製造などの工業が盛んである。

3. 湖から流れ出る水は淀川などを通じて、大阪府や兵庫県を含む広域の住民の生活を支える貴重な資源となっている。

4. 滋賀県内のみで完結する農業用水として利用されており、他府県の工業地帯へ供給されることはない。
- 問11 戦国時代、織田信長が現在の滋賀県にある琵琶湖東岸に安土城を築いた理由として、当時の交通や地理的条件から考えられる背景として最も適切なものはどれですか。（2016年 茨城県公立入試 類似）

1. 四方を山に囲まれた盆地特有の気候を活かし、鉄砲の原料となる硝石を効率よく生産するため。

2. 内陸県特有の険しい山岳地帯を利用して、周辺諸国からの武力侵攻を完全に遮断するため。

3. 琵琶湖を利用した水上交通と、北陸や東海から京都へつながる陸上交通の要所を支配するため。

4. 海に面していないことを利用し、当時対立していた瀬戸内海を拠点とする海軍の攻撃を避けるため。
- 問12 大阪府と、その周辺に位置する兵庫県、奈良県、和歌山県の経済・人口統計を比較した記述として、正しいものはどれですか。（2016年 長崎県公立入試 類似）

1. 大阪府の企業数は約34.3万社にのぼり、周辺の3県を合わせた合計数よりも多い。

2. 大阪府の企業数は周辺の3県とほぼ同等であるが、一つの企業あたりの従業員数が極端に多いため人口流入が起きている。

3. 大阪府は周辺の3県と比較して昼間人口よりも夜間人口の方が多く、典型的な住宅都市としての特徴を持っている。

4. 兵庫県、奈良県、和歌山県の3県はいずれも、大阪府と同様に夜間人口よりも昼間人口の方が多い。